

大切な「経済的効果の評価」の視点

日本薬学会医療薬科学部会が主催する医療薬学フォーラム2013/第21回クリニカルファーマシーシンポジウム(実行委員長宮本謙一氏)が7月20、21日の2日間、金沢市で開かれた。薬剤師の業務の効果を客観的な指標で評価し、エビデンスとして示すことの重要性が強調された。

医療薬学フォーラム2013

木村利美氏(東京女子医科大学病院薬剤部長)は、米国の薬剤師に学ぶこととして「米国では医療経済にフォーカスが当てられている。薬剤師がどのように介入し、どのような経済効果をもたらしたのかが報告されている。薬剤師の医療アウトカムに対する経済的効果を評価し、エビデンスを作っていかなければいけない」と呼びかけた。

例えば米国では、感染症治療に薬剤師が介入した結果、死亡率の低下やコスト削減、在院日数の短縮などに影響を及ぼしたことが報告されている。ほかにも様々な領域において薬剤師の介

入効果に関する報告がある。多数の論文を網羅的に評価したシステマティックレビューではその効果を十分に立証できていない業務もあるものの、日本の薬剤師は「この試みすらできてない」と木村氏は指摘。業務の効果を数値化し、発表することが求められていると強調した。

このほか、米国の病院薬剤師に比べて十分に行えていない患者の薬物治療モニタリングを充実させるため、電子カルテを網羅的に検索するシステムの導入など、「IT化による患者モニタリングの効率化が必要。当院でも取り組みを進めている」と報告。また、米国では様々な業務にIT技術を導入したり、調剤業務にテクニシャンを活用したりしているとし、「薬剤師がすべき業務と、しなくてもいい業務の違いを考えなければいけない」と木村氏は語った。

保険薬剤師資格を更新制に

日本薬剤師会前常務理事で上田市薬剤師会会長の飯島康典氏(イイジマ薬

局)は、薬局や薬剤師の質を担保するために保険薬剤師の資格を更新制にするなど、様々な提言を行った。

飯島氏は、薬剤師の質を保つため保険薬剤師の資格を「3年くらいで更新したらいいのではないかと提案した。また、薬局の質を担保するために、薬局の数を規制して適正化したり、薬局の規模を決めたりする必要があると指摘。薬局の世襲制を廃止するほか、「調剤報酬を株式配当に充てられないような税制改正をするべき」と語った。

一方、患者との対面業務を拡充させるために、調剤の簡素化やロボット化、箱出し調剤の導入など調剤業務の見直しを進めることを提言。事務員を調剤に活用する仕組みを明確にしたドイツの取り組みを見倣って、保険薬局に従事する職員の業務の明確化にも取り組む必要があるとした。



約1700人が参加した

これらのことは組織として日本薬剤師会が提案しなければ実現しないと、「国民から評価されるように理想と現実を限りなく近づける。これは組織を挙げてやらないといけない」と強調。

「日本薬剤師会は1997年に『薬局のグランドデザイン』を策定したにも関わらず、その評価検証をしていない。画に描いた餅になっている。『薬剤師の将来ビジョン』も作ったが、ロードマップはない。どうするのか。これではわれわれの行く方向が見えない」と語った。

学会の話題

GE薬使用促進の方向性探る

GE薬学会 学術大会



佐々木氏

日本ジェネリック医薬品学会は7月初旬、都内で第7回学術大会を開き、約700人が参加。厚生労働省が4月に示したジェネリック薬(GE薬)使用促進に向けたロードマップなど、新たな政策動向などを踏まえ、GE薬のさらなる普及のための方

策などを探った。

大会長を務めた佐々木忠徳(亀田総合病院薬剤部長)は、講演「GE薬のさらなる展開を目指して」で、薬価制度によるGE薬促進の可能性として諸外国の事例を紹介した。

ドイツでは、医薬品市場再編法に基づいて2011年以降に上市する医薬品について製薬会社による価格設定が廃止され、比較薬に対する臨床的有用性を指標に保険者と製薬企業が価格交渉する方式に移行したと説明。また、薬価が一定の基準額を超えると超過分を患者が自己負担する「参照価格制度」のもとで、逆に基準額の30%に満たない場合には自己負担を求めない仕組みがあることに言及し、「そこまでいくのは難しいと思うが、メスが入れば使用促進の大きなインセンティブになるのではないか」との認識を示した。

シンポジウム「今後必要となる医薬品情報とは？」では、GE薬ばかりでなく、医薬品全般の情報収集・提供のあり方を討論した。日本では、先発品とGE薬の添付文書の記載内容が異なることから、欧米と同様、添付文書の統一記載を可能にするような措置を求める提案や、製薬企業のMRによる情報提供に頼らない提供体制の整備が必要なことが話題に上った。

その中で山本美智子氏(昭和薬科大学)は、医薬品情報提供のあり方として、欧米やアジア等の諸国では普及しているが、日本ではまだ取り入れられていない「Academic Detailing」について紹介した。

Academic Detailingとは、医療者に対する双方向的教育的アウトリーチの手法。訓練を受けたAcademic Detailerが、薬物治療に関し医療者、特に処方

医が有効性・安全性・費用対効果を考慮した適切な臨床上の判断が行えるように支援・推進する活動。海外では、臨床薬剤師などがDetailerとなり、医療の質向上に貢献している。また、双方向的な情報活動とコンサルテーションを行うため、コミュニケーション能力も重要となっているという。

薬剤師の専門性発揮に期待

シンポジウム「医薬分業の理念とジェネリック医薬品」で横浜市薬剤師会の向井秀人氏は、GE薬の採用について調剤報酬に左右されず、薬剤師が主体性を持って判断すべきと指摘。制度面の課題として調剤報酬におけるGE薬の取り扱いをさらに整理する必要性などを指摘し、「全ての医薬品は、原則、成分名記載とし、剤形は患者と薬剤師の間で決定すべき」と提言した。



薬剤師としてなりたい自分になるために一緒に働きませんか?



- ◆ 静岡県の中部から西部の地域密着型ドラッグストアとして、近隣の皆さまから圧倒的な支持をいただいています。
- ◆ 当社が考えるドラッグストアとは、「ヘルス&ビューティの専門性」に加えて、食品・日用雑貨品なども豊富に展開する『総合生活者ストア』を目指しております。もちろん調剤は欠かすことのできない重要なものと位置付けています。
- ◆ 当社の薬剤師は「もっとも身近な医療人」としてセルフメディケーションを推進しています。

《異質を作る》(他社の真似をしない)
 《失敗を恐れない》(果敢に挑戦する)
 《よく遊び、よく遊び、よく学ぶ》



Uターン就職はもちろん、Iターン就職も大歓迎!住宅手当も充実しています。

調剤専門薬局 調剤併設型ドラッグストア ドラッグストア

調剤はもちろん、あなたの個性に合った、あなたが生き生き活躍できるフィールドが選べます。



株式会社 杏林堂薬局

〒430-7713 静岡県浜松市中区板屋町111-2 浜松アクタワー13階
 TEL: 053-453-5555 E-mail: suzuki-ta@kyorindo.co.jp 担当鈴木まで